

静岡県立中央特別支援学校

人権教育全体計画

(改定 令和8年4月)

【学校教育目標】

皆と共に 心豊かに たくましく 生きる力を育てる

【皆と共に】

自他を認め、尊重し合い、積極的に社会参加をめざす子ども

【心豊かに】

感動する心を持ち、自分らしくもてる力を精一杯発揮する子ども

【たくましく】

命を大切にたくましく生き、主体的に学ぶ子ども

安全・安心な学校づくり

地域や社会に開かれた学校

生きる力を育む授業実践

大事な命を預かる学校として、人を大切にする高い倫理観をもち、児童生徒の命と人権を守ります

子どもの人権を守る取組の推進

- 人権感覚チェックシートの実施やグループによる人権目標の共有、全教職員を対象とした人権研修会を通して、人権についての自己の考え方や行動を振り返ったり教職員間で人権意識を高め合ったりする。
- 「いじめの防止等の基本的な方針」を策定し、いじめの未然防止、早期発見、早期対応、早期解決に学校一体となって取り組む。
- 「キラリ＆ホット」の視点を大切にし、一人ひとりの児童生徒ができる喜びや達成感を感じられる活動を推進していく。

【各学部及び病弱学級・訪問教育の取組み】

- 小学部**
- ・学年や類型別学習グループ等で人権について考える機会を設定する。人権を尊重している取組みについて、学部会や掲示版等で情報共有する機会を設け、教職員の人権意識を高める。
 - ・学年や類型別学習グループ等で、人権教育年間指導計画を活用して、具体的な人権教育について把握する機会を設ける。

- 中学部**
- ・学期ごとに人権感覚チェックシートを活用し、生活年齢（性別を含む）を意識した教育活動を行う。
 - ・生徒が学習や生徒会活動の場面で良さや頑張りを発揮できる機会を設定する。（人権教育年間指導計画を活用する。）
 - ・「生徒と関わるときのおぼえ」を確認し、職員間の合意形成を行う。

- 高等部**
- ・生徒の良さや頑張りを『キラリ＆ホット』を生徒本人や他の生徒、職員、保護者に伝え認め合う。
 - ・人権教育年間指導計画での人権教育を確認し、担当している学習グループの人権教育の具体的な機会を把握する。

- 病・訪**
- ・自身の人権感覚について、学期毎に人権感覚チェックシートで確認をし、チェック項目を意識して児童生徒と関わる。
 - ・人権教育年間指導計画作成時に各パートでの取組みについて共有し、病訪の教職員全体で児童生徒一人一人のキラリ＆ホットを見つける場面を設ける。

- 舎務部**
- ・学期1回舎生会で児童生徒が人権意識のチェックを行う。
 - ・学期1回の教職員の人権感覚チェックシートの結果で、指導員が課題だと感じたことを共有する機会を設ける。

【学校全体の取組み】

- 教育活動全体にわたり、児童生徒が互いを尊重し、互いを認め合えるような配慮・指導を日常的に行う。
- ・人権教育推進委員会を設置し、児童生徒の人権を尊重した学校教育を推進するとともに、いじめや人権教育等に関する啓発を行う。
- ・生徒指導課を中心として、全校児童生徒一人一人がつながる場の充実を図るとともに、児童会・生徒会の活動を通して児童生徒の良さを引き出し認めていく。
- ・児童会・生徒会のあいさつ運動を奨励し、明るいあいさつをし合う温かいかわりや雰囲気をつくる。
- ・全職員が常に児童生徒を教育の中心に置き、その人格や人権を尊重し、それぞれのよさを大切にする視点を持ち、人を大切にする取組みとして、児童生徒のよさやがんばりを共有し、認め合う取組を「キラリ＆ホット活動」として行う。

【学習のおさえ】

※「キラリ＆ホット」とは 「児童生徒のよさやがんばり」

人権尊重に関する正しい知識	よりよい人間関係をつくるための技能	人権尊重に関する望ましい価値観
【小学部】 ・自分も周りもかけがえのない大切な存在であること、自他の生命はかけがえのないものであることを知っている。	【小学部】 ・自分の能力に応じて補助具や自助具を適切に活用しながら、思いや考えを相手に伝えることができる。	【小学部】 ・自他の身体や生命を大切にしようとする。
【中学部】 ・様々な人々がいて、それぞれの思いや考え方が違うことに気づき、に、自分の思いや考え方を相手に分かるように伝えることの大切さに気付く。	【中学部】 ・相手の良さに気付くとともに、その人の立場に立って考えることができる。	【中学部】 ・自他の良さを認め、互いに協力し合う差別のない共に生きる社会を作っていくとする。
【高等部】 ・集団の特性を知り、身近な集団における自分の役割と互いに協力することの大切さを理解するとともに、障害に対する差別や偏見の不合理性とそれを解決することの重要性を知る。	【高等部】 ・自分の思いや考えを相手に伝えるとともに、正しいと思うことができる。	【高等部】 ・差別的な言動に気づき正そうとするとともに、様々な人々や社会とかかわりをもちながら共に生きていくとする。

		小学部	中学部	高等部
各教科等における指導方針	各教科・領域等	【日常生活の指導】 相手を意識して、あいさつをすることに関心をもつ。 【生活単元学習】 友だちと共同して単元の活動に取り組む態度を育てる。 人とかかわりを大切にし、友だちと色々な活動を経験することでコミュニケーションの基礎を養う。 【道徳】 自立した人間として他者ととともによく生きるための基盤となる道徳性を養う。 【各教科】 体験学習、協力的、協力的活動を学習の中に取り入れ、人権の実現に関わる想像力、共感性、コミュニケーション技能などの育成を図る活動を培う。	【日常生活の指導】 気持ちの良いあいさつをし、時間を守ることの大切さを理解する。 【生活単元学習】 一人一人の生徒が力を発揮し、主体的に取り組むとともに、集団全体で単元の活動に協力して取り組む態度を育てる。 【作業学習】 自分の役割を理解し、他の生徒と協力して作業活動に取り組むことでコミュニケーション能力を育てる。 【音楽・美術】 音楽や美術について興味・関心を深めながら生活を明るく楽しいものにする態度と習慣を育てる。 【保健体育】 きまりや簡単なスポーツのルールなどを守り、友だちと協力して安全に運動する態度を育てる。 【道徳】 それぞれの個性や立場を尊重し、いろいろなものの見方や考え方があることを理解する。	【日常生活の指導】 自分から気持ちの良いあいさつをし、時間やルールを進んで守ろうとする態度を育てる。 【作業学習】 職業生活や社会自立に必要なとされるマナーや態度を学び、学習活動においても活用することで他者と協働して作業を行ない、コミュニケーション能力を高める。 【国語】 日常生活に必要な国語の理解や表現力をさらに深め、「聞く・話す」「読む」「書く」ことを相手や場面、状況などを踏まえて生活の中で適切に活用する力を育てる。 【数学】 日常生活に必要な数量に関する理解を深め、分析的に物事を考える力やそれらを実際の生活場面で取り扱い、生活に生かしていく能力と態度を育てる。 【音楽】 表現及び鑑賞の能力を伸ばし、自己選択によって音楽活動への意欲を高めるとともに、性格を明るく楽しいものにする態度と習慣を育て、生涯を通じて音楽を楽しむ態度を養う。 【美術】 基礎的造形活動の経験をもとにして、表現及び鑑賞の能力を一層高め、基礎的・基本的・発展的な創造活動を充実し豊かな情操を養う。 【保健体育】 決まりやいろいろなスポーツのルールなどを守り、友だちと協力し、進んで安全に運動する態度を育てる。 【道徳】 様々なつながりの中で日々の生活や現在の自分があることを理解するとともに社会参加の意識を高めよりよい社会を実現しようとする態度を養う。
	特別活動	集団での活動を通して、友だちと仲良く活動する態度を育てる。	集団での活動を通して、友だちと協力して活動する態度を育てる。	集団活動や話し合い活動を通して、他者と協力して生活上の諸問題を解決し、望ましい人間関係を築く態度や技能等を養う。
	総合的な学習の時間	さまざまな考えを知り、相手の立場を理解しようすることができる。	社会と関わる体験活動を通して、自ら考え、主体的に判断する態度を養う。	自然体験活動、国際理解、地域の文化の学習活動を通して、さまざまな情報を収集・活用しながら自ら課題を見つけ、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決しようとする考え方や判断力を身に付ける。
	自立活動	個々の児童又は生徒が自立を目指し、障害による学習上の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識・技能・態度及び習慣を養い、もって心身の調和的発達の基盤を培う。		